

① 広報

ふるとの

ふるとの Ⅰ

Contents

- 2 | 年頭の挨拶
- 6 | 町のできごと
- 10 | 館報
- 16 | みんなのひろば
- 18 | 暮らしに役立つ情報



2018
No. 425

1

こども園餅つき会 (12月8日)



～2018年～ 年頭のごあいさつ



交流人口の拡大と

安心して暮らせるまちづくり



町 長 徳 岡

スポーツ振興のみならず新たな交流の拠点となることから、町内外に各種大会の開催を積極的に呼びかけ、新年度には記念行事も実施してまいりたいと考えております。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中、皆様には町政に対し特段の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も地方創生・人口減少対策など多くの行政課題が山積しておりますが、前向きで明るい話題を増やし発信していくことが重要であり、交流人口の拡大や定住促進に向け、粘り強く地道に努力を続けてまいりたいと考えております。

春には復興のシンボルでもある新しい町民体育館がいよいよ完成いたします。この施設は、

この他にも、今年、三株山頂富士見台が生まれ変わるとともに大原木材加工施設も完成し、観光や産業の面でも一層の交流が期待されます。

また、新たなコスモス荘の整備を始めとし、安心して暮らせるまちづくりにもしっかり取り組むなど、「緑と人が響きあうぬくもりのあるまち・ふるどの」の実現に向けて、皆様とともに邁進してまいります。

今後とも町政に対する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、平成30年が皆様にとりまして輝かしい1年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「新たな躍進の年に」

議長 佐藤 一夫



新年明けましておめでとう
ございます。

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。また、平素より町議会に対する深いご理解と格段のご支援を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成24年12月から始まった景気拡大は消費増税後に停滞したものの、平成29年中もなお継続しました。低金利と安定した円相場により企業収入が安定し、デフレ脱却への明るい兆しとなりました。

しかしながら賃金増の恩恵は首都圏などが中心で二極化が起り、地方では好景気になかなか実感できなかったのではないのでしょうか。古殿町

はもとより地方自治体が急速な人口減少と少子・高齢化という深刻な問題に直面し、税収や働き手が減少していく中で、これまで以上に行政の効率化を進め、創意工夫を重ねて町民の付託に応えられるよう努力して参りたいと思っています。

古殿町にとっても躍進の年になるよう、町づくりの主役である皆様とともに努力してまいれる所存であります。県が算定した65歳の健康寿命を示す「お達者度」で、古殿町は男女とも県および全国平均を上回る結果となりました。町民の皆様一人一人がその力を発揮して活躍し、互いに助け合い、補い合う持続可能な共助の仕組みを再構築できるよう全力で取り組んで参りたいと思っております。

今後とも相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで稔り多く、飛躍の年となりますよう心からお祈りし、新年のあいさつといたします。

流鏑馬の里「ふるどの」の教育

教育長

矢吹伸一



あけましておめでとうござい
す。

日頃より町教育行政に対し、深
いご理解とご協力をいただき、心
より感謝申し上げます。

本年2月、町民体育館が3年に
わたる改築工事期間を終え、念願
の完成を迎えることとなります。
体育・文化活動両面でご不便をお
かけした町民の皆様には、待望の
開館となります。他に誇れる我が
町の体育文化財産として、町民利
用を第一優先に、また他市町村か
らの交流人口の拡大を見据えなが
ら、各種スポーツ大会や文化活動
にご活用いただけるよう、施設管
理にあたってまいります。

町の誇りは「人と自然」あり、
優れた人材の育成は町の基盤です。

こども園での幼児教育の充実、小
中学校における町雇用講師を活用
した授業充実や中学生議会の開催
など、学校行事・体験学習におけ
る町の教育支援を通して、児童生
徒は、各種大会、コンクール等で
すばらしい活躍をみせてしてくれ
ます。

本年も、学校教育と社会教育、
幼児教育と家庭教育の更なる充実
のために、教育環境の整備を図っ
て、総合的な教育行政を推進して
まいりますので、町民の皆様の温
かいご支援をよろしくお願いいた
します。

町民の皆様にとって実り多い1
年となりますよう、お祈り申し上
げます。

東京ふるどの会四月に創立35周年

東京ふるどの会会長

鈴木 驍



古殿町の皆様、会員の皆様、明
けましておめでとうござい
ます。

皆様には希望に満ちた新年をお
迎えるの事と慶賀に存じます。

東京ふるどの会は4月に、創立
35周年を迎えます。古殿町のご支
援を始め、町の皆様のご協力、ご
支援に感謝すると共に、会員皆様
に支えられ役員一同、衷心からお
礼申し上げます。

さて4月に35周年を迎えるに当
たり、新装となりました日本青年
館で、記念総会、講演会、懇親会
を開催いたします。過去30周年ま
では記念誌を発行していましたが
今回も準備中、個人情報等の問題
が出てまいり、検討の結果、今回
は取り止めました。それに代わり
まして、創立35周年総会に合わせ、

記念講演会、懇親会の中に演芸な
どを取り入れ、会員同志が楽しめ
る内容にしてまいりますので是非
ご期待していただきたく存じます。

古殿町の益々のご発展を期待し、
東京ふるどの会会員に期待される
運営を目指してまいります。

皆様のご多幸をお祈り申し上げ
新年のご挨拶といたします。



中学生議会が開催されました



古殿中学校3年生による中学生議会が、11月21日(火)、町役場議場にて開催されました。この中学生議会は、社会科授業の一環として中学生から町に活性化案を提言するもので、昨年に引き続き行われました。

議会では代表の生徒10人が質問者となり、町の観光や福祉などに関する様々なアイデアを町長に提言しました。



中学生議会

Q & A



問 「学生タクシー（学タク）」について

古殿町は町外へ通う公共交通機関がバスのみで、バスの本数も少ないため、町に「学生運搬課」のようなものをつくり車で送り迎えをしてはどうか？

答 古殿町では、高校などに進学する皆さんのニーズに対応するため、奨学資金を無利子でお貸しする制度を設けております。皆さんにはこちらを活用し、進学、そして将来に向けた勉強やスポーツに頑張っていたいただきたいと考えております。

問 「赤ちゃん高齢者のためのプラン」について

古殿町が赤ちゃんの育てやすい町となり、介護の負担を減らしていくために、

① 子育てバスポートを赤ちゃんのいる家庭に配り町内の施設で様々なサービスを受けられるようにしてはどうか？

答 現在、国と県が「子育て応援バスポート事業」を実施しており、子育て世帯に「ファミたんカード」を配布し、全国の協賛する店舗で商品の割引やサービスの提供を受けていただけるようにしております。

② 介護予防パンフレットを作成し、各家庭に配布等を行うてはどうか？

答 町では元気はつらつ教室などの介護予防事業を実施するとともに、広報誌などで周知しております。

問 「結婚・出産・子育てサポート」について

住みたくなる町づくりと子育てしやすい環境づくりのため、

① 結婚した時に商品券でなく、祝い金を贈ってはどうか？

答 町における経済効果も考慮し、商品券を配布しております。

② 結婚式のサポート（費用の一部負担、古殿独自の引出物の負担など）をしてはどうか？

答 商品券支給などの対応をしております。

③ 出産祝い金の変更（第一子の支給額増）してはどうか？

答 昨年度、第一子を対象とした祝い金を新たに創設いたしましたので、しばらくは支給件数、効果等を見守りたいと考えています。

④ 子育て用品の支給をしてみてもどうか？

答 町が行う赤ちゃん誕生祝い金支給の目的の一つに子育て費用の負担軽減も含まれており、ご理解をお願い致します。

問 「空き家リフォーム」について

古殿町にある空き家や使用されていない施設の有効利用のため、

① 空き家の紹介、リフォーム費用を一部負担する、商品券の贈呈、家電の購入補助をしてはどうか？

答 子育て世代や若者世帯の方が、町外から古殿町に移住するため住宅を取得する場合に、町では補助金を交付しております。

② 使用されていない施設を合宿所、キャンプ場、介護施設等により替えてはどうか？

答 最も良い使い道は何か、検討を

行っているところですか。

③空き家を企業の事務所や店舗に限定して貸出しているかどうか？

④一定期間の貸出しや移住体験ができる制度を整え、光熱費などを負担してはどうですか？

答 空き家は個人の所有物であり、持ち主の意向もあり活用が難しい面がありますので、ご提案を参考にしながら検討したいと思います。

問 「サイクリングコース」について

古殿は自然が多く、自転車やオリンピック選手も輩出していることから町内にサイクリングコースを作り、レンタサイクルの運営、ロードレース大会を特徴的なレースにするなどを実施してはどうか？

答 以前、古殿町ではレンタサイクルを行いました。利用がないため終了してしまつたという経緯もあり、ご提案については参考にごさせていただきます。また、「ロードレース大会を特徴的なレースにする」については、これまでも実行委員会が窪木一茂選手を招待するなど、様々な工夫を凝らしています。

問 「四季折々のイベントの活性化」について

①越代の祭りの活性化のため、桜の満開時期を予測し、交通、出し物を充実させてはどうか？

答 桜の満開の予想は大変難しく、長年の試行錯誤から5月3日に落ち着いた経緯があります。また、駐車場の拡張は4年前に行っておりません。出し物等に関しては、主催者である実行委員会の中で協議していただければと考えています。

②憩いの森フェスタの活性化のため、開催時間の延長、交通・催しを充実させてはどうか？

答 現在、商工会を中心とする実行委員会が実施しているところであり、こうした意見を実行委員会に伝えていきたいと思いま

す。

③流鍋馬祭りを活性化のため、交通の充実、若者へ流鍋馬文化を伝えるのに年齢別に流鍋馬を披露してはどうか？

答 流鍋馬の伝承については、流鍋馬保存会と協働しながら進めてまいります。年齢別に分けるということについては、神事であるため、対応が難しい部分がありますが、馬とのふれあいなどを促進することにより若い方に身近なものとして感じてもらいたいと思います。

④新しくできる体育館で冬にイベントを開催してはどうか？

答 新体育館は様々な形態での活用可能性が広がることから冬のイベントの実施に向けて検討していきたいと思えます。

⑤既存のイベント等の活性化や四季を通じて花や木を楽しめる公園をつくってはどうか？

答 関係者と知恵を絞りながら、今後とも観光スポットやイベント等の活性化、年間を通じて憩いの森公園の魅力向上等に取組んでいきたいと思えます。

問 「町の交流を深めよう大作戦」について

①古殿の宿泊施設を整備し、受け入れ体制を整え、交換派遣、特産物の体験活動を行うってはどうか？

答 姉妹都市である紫波町とは、毎年お互いのイベント等に参加しており、ご提案は参考にごさせていただきます。宿泊施設については農家民宿など新しい制度の活用も検討し、体験活動については、可能なものについて一ずつ取り組んでいきたいと思えます。

②物産展、文化体験施設を置き、互いの特産品、文化体験ができるようにしてはどうか？

③互いの祭りやイベントで出店を出し合っ

てはどうか？

答 紫波町の農産物直売施設「紫波マルシェ」にて古殿町の町産品を販売するほ

か、紫波町産業まつりでも町産品の販売

を行っています。また、「おふくろの駅」でも紫波町産ワインの販売実績があります。文化体験については各種団体と協議しながら検討していきたいと思えます。

④中学生同士で交流できるイベント(交換派遣やビデオレター等)を開催してはどうか？

答 イベント等の実施可能性について今後検討していきたいと思えます。

問 「石三鳥作戦」について

①大きなパークینگエリア、複合施設に古殿町のアンテナショップを開設し、特産品を販売してはどうか？(やぶさめくんを同行させ、古殿町のPR・商品の販売収益、やぶさめくんの知名度アップの3点が狙い)

答 アンテナショップについては、紫波町の「紫波マルシェ」、川崎市桜町商店街、東京にある福島県のアテナショップ「ミッテ」において町産品の販売などのイベントを行っています。イベントにおいては、やぶさめくんグッズも無料配布し、古殿町及びやぶさめくんの知名度の向上に取り組んでいます。

問 「アミューズメント施設建設」について

①三株山や鮫川沿いにバーベキューが

できる施設やキャンプ場を作ってはどうか？

答 三株山、憩いの森公園共にバーベキューができるスペースを整備しております。

②憩いの森に杉材を使ったアスレチックやチェンソーアート館などを設置してはどうか？

答 安全性も含め、どのようなものが設置可能か検討していきたいと思えます。また、チェンソーアート館については、十二支の干支である馬、羊、猿、鶏、犬の像を作成しており、設置場所を検討し

ているため、ご提案は参考にさせていただきます。

③動物との触れ合い、農業体験、古殿町独自の特産品生産体験やカラオケ、ゲームセンターなど若者向けのものを併せ持つ施設を作ってはどうか？

答 農村体験に係るものはグリーンツーリズムに取り組み農家を後押ししていきたいと思えます。娯楽施設等に関しては、本来民間企業が設置、運営すべきものであり、今後慎重に検討する必要があると考えます。

④論田小などの施設を作り替え合宿所や学校の名残を残した学校風の旅館を作ってはどうか？

答 旧論田小学校については、現在、町民が働く場所を確保する観点から企業による利用ができないか検討しています。また、旅館についても本来民間企業が運営し、利益を見込めるか見当が必要であり、受け皿整備の在り方は皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

問 「古殿町オリジナルPR動画」について

①わたし達中学生が作成してはどうか？

答 皆さんが地域の宝を再発見することはとても有意義であり、町のPRにもつながることから可能であれば作成していただきたいと思えます。

②町の方が四季の行事などを撮影したものを編集して作成してはどうか？

③インターネット上で募集をかけフリーライターやアーティストに作成してもらってはどうか？

答 これまでも町では、町を紹介するPR動画を制作し、ホームページ等で公開しており、これらの動画を皆さんに一度ご覧いただき、意見を頂戴したいと思いま

窪木一茂選手 石川警察署一日署長として来庁



12月8日(金)、町役場に窪木一茂選手が来庁されました。
12月10日(日)から行われる、年末年始の事件事故防止を
推進するため、石川警察署の「一日署長」として、交通安全や防犯のお話をいただきました。
また、オリンピックの際に応援してくれた古殿町の方へ、感謝の言葉をいただきました。
現在は活動拠点をヨーロッパに移し活躍する窪木選手、今後も更なる活躍に期待しましょう。



石川地区交通安全表彰大会

11月27日(月)、石川町八幡屋において石川警察署、石川地区交通安全協会主催の「石川地区交通安全表彰大会」が開催されました。

当大会において、優良事業主兼平成29年交通事故防止コンクール成績優秀として、株式会社富士通テレコムネットワークス福島が受賞し、第38回交通安全立看板コンクール優秀賞として古殿小学校、努力賞として古殿中学校が受賞しました。



年末年始事件事故防止運動合同出動式



12月8日(金)、年末年始事件事故防止運動合同出動式が町役場で行われ、町防犯協会や交通安全協会など関係者約30人が参加しました。

出動式終了後、町内の商店や飲食店を巡回し、年末年始の事件事故防止を呼び掛けました。12月10日から1月7日までの運動期間中、地域安全、交通事故防止に取り組んでいきます。

租税教室を開催

11月16日(木)、古殿小学校において、町住民税務課による租税教室が開催されました。児童のみなさんにビデオ学習やクイズを通して、「なぜ税金が必要か」、「税金が社会でどのように使われているか」など、小学生には馴染みの薄い税金に関する知識を学んでもらいました。



税金について学びました

福島県社会福祉大会会長表彰受賞



左から藁谷副町長、民生委員協議会会長佐藤富男さん

11月10日(金)、白河文化交流館コミネスにて第71回福島県社会福祉大会が開催されました。今回、福島県社会福祉大会会長より、本町民生委員協議会会長の佐藤富男さんが表彰を受けました。民生児童委員として15年以上にわたり町の社会福祉の向上に御尽力され、その功績が認められました。

今年は、民生委員制度創設100周年という記念の年であり、民生委員児童委員に対する期待が一層高まっています。これからも町民が安心して暮らせるまちづくりに向けて御指導よろしくお願いたします！

木工・しめ縄教室

11月27日(月)～12月1日(金)までの5日間、いきいき遊里工房において、講師に三森安蔵さんをお迎えし、「木工・しめ縄教室」が開催されました。この教室は、木工品の基礎知識を学ぶとともに、作業を通しての語りや憩いの場を設けることで、生きがい対策や健康保持を図り、介護予防に寄与することを目的として、毎年この時期に開催されています。連日、作り出される完成度の高い作品には目を見張るものばかりでした。

講師の三森さんをはじめ、参加者の中には週に1、2回遊里工房において作品作りに励まれている方もおり、一緒に制作をしていく仲間を随時募集しています。



講師の三森安蔵さん(中央)を囲んで、力作と記念撮影

こども園生活発表会・餅つき会



元気いっぱい、披露しました

12月2日(土)、こども園の生活発表会が行われました。歌、リズム、手遊び、劇など様々な演目があり、園児一人ひとりが一生懸命に頑張りと練習の成果をしっかりと発表できました。

また、元気に演目を披露する園児達を見て、保護者の方も園児から元気を分けてもらい、楽しいひとときを過ごしました。

12月8日(金)、こども園で餅つき会が行われました。見ている園児は、お餅をつくたびにみんなで「よいしょー！」と声をかけたり、もちつきの歌を口ずさんだりしていました。また、園児達も保護者の方と一緒に杵を持って餅つきをしました。出来上がったお餅はみんなで美味しくいただきました。



もちつき ペったんこ！

古小だよ

しっかり頑張り切った！持久走記録会



11月17日(金) 当日はたくさんの皆さんの応援を受けて、子どもたちはそれぞれに自分の持てる力を出し切って走ることができました。持久走は辛く、苦しい競技です。敢えてそれに挑戦し、自分の記録に挑むことが子どもたちの身体と心を鍛えます。子どもたちは見事にそれをやってのけました。しっかり走り切り、トップの児童から最終の児童まで大きく離れることなく全員がゴールできました。ゴール後、力を使い果たし、芝の上に倒れ込んでいる子どもたち・・・誇らしくも感じました。

古殿小で先生方の授業研究会 子どもたちも活躍！

11月15日(水) 本校で教員の授業研究会が開催され、20名以上の先生方が集まり、1年2組、3年2組、5年1組の各クラスで算数の授業を行いました。子どもたちが様々な課題を自分たちの力で解決していく様子を見ていただきました。多くの先生方から、子どもたちの活発な意見のやり取りや積極的に話し合う様子が見られたと、お褒めの言葉をいただきました。さすが古小っ子！



水害対策出前講座 6年生



11月27日(月) 福島県県中建設事務所による水害対策出前講座が開催されました。最近の異常気象等による土砂災害や水害についてのメカニズムをきちんと理解し、その対策について考えていく授業でした。また、災害時に自身を守るロープワークの実技も行いました。これからの防災は、一人一人が自分で考え、行動することが重要であるとのことでした。「自分の命は自分で守る」これがキーワードです。

陸上競技教室 すごい人たちが来た！



11月20日(月) 古殿町スポーツクラブ「FULL SPO」の紹介で実業団陸上競技選手が来校し、陸上競技教室を開催してくれました。日本の10種競技の第一人者(日本選手権5連覇等)、110mハードル日本歴代2位の記録保持者、400mの競技者で、世界陸上の4×400mリレーの代表メンバー。それぞれが一流の方々。間近で1m以上ある高いハードルをトップスピードで超える様子や走り高跳びのきれいな背面跳び等を見せてもらいました。

古中だより



めざす生徒像 (知) 自ら学ぶ生徒
(徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
(体) 心身ともに健康な生徒

県新人バスケットボール大会 優勝



優勝おめでとう！

郡山市の西部体育館にて、県新人バスケットボール大会が開催されました。県南1位の代表として出場した女子バスケットボール部が優勝しました。1月に秋田県横手市で開催される東北大会に県代表として参加します。

	91	対	21	須賀川二中
	62	対	26	赤井中
準決勝	73	対	42	船引中
決勝戦	69	対	46	郡山三中

中学生議会

町役場3階議場で古殿町中学生議会が開催されました。総合学習の「ふるさと再発見」の授業の一環として、3年生全員で計10問の質問をしました。町長さんからそれぞれの質問に対して、議会の本番と同じ形で答弁をいただきました。緊張気味の生徒たちでしたが、ふるさと「古殿町」の発展のための施策を堂々と質問することができました。



立派な質問でした。

教育講演会「ネット時代を生きる子どもたち」



3年生も聴講しました。

聖心女子大学講師の榎本竜二先生をお迎えして教育講演会を開催しました。子どもたちをとりまくネットやSNS等の現状(光と影)を知り、犯罪やトラブルに子どもたちが巻き込まれないために、私たち大人(保護者、教職員)ができること、心がけなければならないことについて考える良い機会となりました。また、3年生にもお話をいただき、ライン等のSNSでのトラブル防止について学びました。

コーディネーショントレーニング

「転ぶときに手をつけない」、「からだの動きがぎくしゃくしている」など、バランスをとったり、リズムに合わせてからだを動かしたりということが苦手な生徒が見られます。そこで、状況を五感で察知し、それを頭で判断し、具体的に筋肉を動かすといった一連の過程をスムーズに行う能力(コーディネーション能力)を高めるトレーニングを実施しました。



上手くできるかな？

石川地区弁論大会



演題「限界を超えろ！」

石川中学校にて第57回石川地区中学校弁論大会が開催されました。各中学校の代表生徒7名の弁論はどれも立派で素晴らしいものでした。審査の結果、古中代表の小濱涼乃さんが見事「優秀賞(第2位)」に輝き、昨年度に引き続き入賞しました。

学校生活の様子を古殿中ホームページでも紹介しています。ご覧いただければ幸いです。

第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会



★総合 35位
★町の部 16位

11月19日(日)、第29回のふくしま駅伝が行われました。

午前7時40分にしらかわカタルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、選手16人が古殿の誇りをタスキに込め、福島県庁までの94.8kmを懸命に走りました。結果は総合35位、町の部16位と健闘しました。

その後、解団式では、だるまへの目入れや団旗返還、選手への記念品贈呈が行われ、斎藤豊選手より感謝の言葉がありました。また、選手一人ひとりから、今回の感想・来年の抱負等が述べられました。

選手の皆さんお疲れ様でした。



1区 矢吹 美佳



2区 矢内 正一



3区 矢吹 蒼空



4区 坂本 創



5区 小平 凌央



6区 本郷 幸平



7区 野崎 龍雅



8区 瀬谷 拓海



9区 岡部 美咲



10区 斎藤 豊



11区 大竹 真生



12区 水野 大道



13区 大楽 泰弘



14区 矢内 翔



15区 小濱 涼乃



16区 我妻 聡

館報

ふるどの

furudono

第714号

(平成30年1月号)

《3つの運動》

1. 時間を守りましょう
2. 自然を大切にしましょう
3. あいさつをしましょう



サンタさんがやってきた!!!

編集 古殿町公民館

電話 53-2305

FAX 53-2500

二つの目で見よう(こじつ)

古殿小学校 五年二組

有賀花梨

私の目は、二つついていています。遠くまでよく見える目を持っています。みなさんの目は何個ありますか。よく見えますか。実はついこの前まで私の本当の目は一つで、もう片方の目はよく見えなかったのです。これから、宿泊学習で様々な経験をして、私の目が本当に二つになったこと、よく見えるようになったことを話します。

今年の六月に、二泊三日で「宿泊学習」が行われました。みんなと一緒にとまったりご飯を食べたりという学習は、四年生の頃からずっと楽しみにしていました。そして、そんな楽しみな学習をどんな班で誰と一緒に活動するのかということも楽しみの一つでした。

事前説明会で班のメンバーの発表がありました。一番仲良しの友だちとは一緒にではありませんでした。さらに、男子は、全く話を聞かず、自分勝手なことばかりしていて、正直、この班で私はやっていけないのかな。不安でいっぱいでした。班長を決める時も、みんなだまりこんでしまいました。思い切って自分から手を挙げました。どうにかしなければいけないと思ったからです。でも、どうやってどうにかすれ

ばいいのかわからないまま宿泊学習になりました。

私の目がしっかり見えるようになってからは三日目のスコアオリエンテリングでの出来事です。スコアオリエンテリングとは、山の中を歩き回ってポイントを見つけ点数を競う活動です。まとまりのない班が山の中に行ったらどうなるかということは何となく想像していました。この時は違いました。いつも班活動の時に違う事ばかりしていたA君がなんと、山の中に先に入り、道の道を行けば安全なのか道案内をしてくれたり、道を防ぐ木の枝などをどけたりしてくれました。「こっちにポイント見つけたよ!」「川があるから、気を付けて来てね!」など今まで教室で見せたことのない大きな声で、とても生き生きと活動していました。それを見て、私はびっくりしたと同時に、とても頼りになるな安心できるなと思いました。

そうです、今まで私はA君を自分勝手な人という目でしか見たことがありませんでした。でも、もう一つの目を働かせてみると、いざというときにとても頼りになる人だということが分かりました。

宿泊学習で様々な経験をしてから、私は、目がちゃんと見えるようになって

てきました。一つの目だけで、人のイメージを自分で勝手に決めてしまつて、この人はこうだからダメな人、嫌な人なんて思っていました。でも、一つの目を動かして、話したり一緒に行動したりすることで、見た目やイメージとは違うところがあるということに気づきました。

みなさんも、二つの目で友達を見つめなおしてみましよう。まだまだ素敵なところが眠っているかもしれませんね。

未来がよりよくあるために

古殿小学校 六年一組

平松優海

朝、父と一緒に陸上の練習をしていると、父の携帯にメールが届いた。その内容は、「ミサイルが発射されました。」というものだった。

以前にも、サッカーの試合中継を見ていたら、臨時ニュースでミサイル発射が出たことがあった。わたしは、「またか。でも騒ぐほどのことではないな。」と思っていた。しかし、車で迎えに来てくれた母の顔を見たら、大変な事が起きていることが分かった。家に戻りニュースを見ると、ミサイルが日本の上空を通過したことを知らせていた。学校に行くとそのことで騒ぎになっていた。真っ先に出た意見は、「発射した国をつぶせばいい。」「打ち返せ

ばいい。」ということだった。たしかにそうすれば、解決するかもしれない。けれど、わたしはミサイルが発射された時の映像が気になって、すぐには賛成できなかった。それは、その国のみんなが万歳して、すごく喜んでる姿だった。でも、それは一部の人。その国のみんなの願いではないと思えてきたのだ。

では、平和ということは何だろう。平和とは、人々がくしみ合わない世界のことだと最初は思っていた。しかし、国語の授業で、「広島原爆ドーム」について学習していくうちに、平和とは、私たちが日常的に使っている物が自由に使えることではないかと思ってきた。電気が使えて、水が飲める。食べ物食べられ、家に帰れる。そんな当たり前と思えることができること、それが平和だ。どんなに強くても権力があつて相手を脅やかして得るものは、決して幸せなことではない。どんな理由があつても戦争は二度と繰り返してはいけないことだと思つた。

国語の授業では、私たちの未来がよりよくあるために残したいものについても話し合った。そこで、古殿町で盛大に行われている「やぶさめ祭り」があげられた。みんな大賛成だった。祭りはみんなをワクワクさせ、楽しい時間を過ごさせてくれる。そのためには、馬の世話や役者としての練習、観客の

移動手段の計画など、準備は大変です。でも地域をあげて、みんなのため準備してくれている。私たちもいつか、その準備に関わっていったらいいなと思っっている。

私たちにできる事は、今の古殿町がもっともつと住みやすく、魅力ある町になるためにはどうすればいいか、考えていくこと。そのためには、いろいろな行事に参加して町を知ること。そして、周りの人と協力できる人となっていくこと。周りの人の為に動くことができる。そんな風に、身近な所からつながりを広げていくことが大切だと思う。そしていつか、その輪が、大きくなれば良いと思う。当たり前の毎日が、当たり前に送れるように。私たちの未来が、よりよいものであるために。

平和への第一歩

古殿小学校 六年二組

鈴木雅文

平和な暮らしがずっと続くこと。これは、よりよい未来をつくっていくために欠かせないことだと思っ。これからの平和のため、平和をおびやかすのは戦争だ。争いをなくすために必要な事、それは差別をなくすことだと思っ。例えばいじめもそうだ。いじめをなくすことがよりよい未来への第一歩だと思っ。

ぼくが平和について考えるきっかけになったのは、学校の国語の授業で「平和のとりでを築く」というものを学習したからだ。その時に、戦争や平和についてもつと知ろうと思っ、いくつか本を読んでみた。その中の一冊が「はだしのゲン」だった。せんそうによつて心や体に傷を受けた子どもたちの本で傷ついた子供たちの絵が載っているページがあった。それ見て、「家族や友人、先生と何気なく過ごしている日々は平和のおかげなんだな。」と思っ。しかし、今、平和な暮らしが崩れかけてしまっている。みんな協力して今の平和を守っていかなければならなと思っ。

今の平和を守るためにぼくに何ができるだろう。そう思っ、「ダイヤモンドより平和がほしい」の本を読んだ。その中には、子どもなのに兵士になって戦争に行くこと、そして、戦争で人の命をうばってしまったことが書かれていた。その少年たちが「今、ぼくは人を殺すことは絶対にいけないことだと思っ。だつて彼らを創つたのはぼくよ。神様が創つた人を、人が殺してはいけない。」と言っ。子ども兵士も平等であることの大切さを伝えてきたこの国で起きた争いは、差別されてきた人々が反乱を起こして始まったものだった。このことから、差別は戦争

を起こしてしまうと思っ。つまり、差別をなくしていけば、世界は平和に向かつていけるのではないか。そう考えた。

身近なことで言うといじめだ。いじめは、人の心を傷つけるだけでなく、もしかしたらいじめられた人が「やり返してやる」という気持ちになつてしまふかもしれない。そうすると、いじめが終わつた後でも、やり返してケンカになったり、仲がわるいままになつてしまつたりするのではないかと思っ。ぼくのクラスでは、いじめがなくつとでも仲が良い。でも、これからもそういうことが起きないようにするために、友だちへの言葉づかいに気を付けていきたい。また、友だちが傷つくようなことを言っている人がいた時には、「それは、ひどいよ。言い過ぎだよ。」と注意したい。

子ども兵士が保護されて、たくさんの人に支えられて心の傷をいやして。ぼくたちもみんなで支え合っていかなければならないと思っ。今の平和が続いてほしい。だからぼくは、周りの人の気持ちを考えて、いじめがないようにしていきたい。

私に教えてくれた命の大切さ

古殿中学校 一年一組

遠藤安希

二〇一一年三月十一日二時四十六分。

突然大きな揺れが襲つてきました。東日本大震災です。私にとつて忘れることのできない出来事でした。その時幼稚園児だった私には、実際何が起きていたのか、全くわかりませんでした。ただただ恐ろしくて、いつまでも続く大きな揺れにおびえていました。そして、何もできず、揺れが収まるまでただじつと待っていることしかできなかったのです。

皆さんは、この時の体験を覚えていますか。そして、どんなことを感じましたか。地震への恐怖でしょうか。生命の危機でしょうか。私は、この震災から「命の大切さ」を教えられたのです。恐ろしさに体を震わせ、今にも泣き出しそうだった私を守つてくれたのは、幼稚園の先生方でした。「大丈夫、心配しないで。」と、優しく声をかけて、私の手を引いて安全な場所に避難させてくれました。不安で一杯だった私にとつて、先生のその言葉はとて心強く、安心感を与えてくれるものでした。私の命を守つてくれた、その時の先生の手の温かさは、今でも私の手の中に残っています。

この震災では、たくさんの方が被害を受け、たくさんの方の命が失われました。テレビの画面には、家族や友人を亡くして泣いている人の姿が映し出されました。それを見て、子ども心にも、大事な人を亡くすことは本当に悲

しいことなんだなと感じました。幸いなことに私の家族や友人は全員無事でしたが、もしかしたら、そのような悲劇は自分の身にも起きていたかもしれないのです。一人の人間の一つしかない大切な命。それを失うことの悲しみやつらさ。この時、一人の人間の命の重みと大切さを実感しました。私たちは生きていく限り、このかけがえのない大切な命をしっかりと守っていかなければならないと思いました。

東日本大震災から六年半。時間は過ぎましたが、人々の心はまだ深く残っています。しかし、家族や友人を亡くし、一時は生きる希望さえ失っていた人も、少しずつ自分の生きる目標を見つけ歩き出したようです。私が最近読んだ新聞記事には、「今の命を守るために、次の命を守るために、自分のできることを頑張りたい。それは、震災の記憶を伝え続けることだ。」と、力強く語るおじさんの言葉が載っていました。おじさんの後ろには亡くなった家族の写真が飾ってありました。奥さんや息子さん、そしてまだ小さいお孫さん。悲しみを乗り越えて、新しい命を守ろうとするおじいさん。これからの私たちのすべきことは、命を守り、命をつなぐことと教えられました。私の将来の夢は、まだ、具体的には決まっていませんが、命に関わる仕事、たくさんの命を守るような仕事に

携わっていくということ。自分の命だけでなく他人の命も尊重すること、人間の命だけでなく動物の命も大切にしていけることを考えて、自分のできること、自分のやりたいことを決めていきたいと思っています。「命」があるから私たちは生きています。一人一人の大切な「命」を守り、精一杯輝かせていきましょう。

支え合う心を大切に

古殿中学校 一年二組

荒川 裕菜

皆さんは、学校以外でボランティア活動に参加したことはありませんか。そして、ボランティアについてどう思っていますか。「めんどくさい」「やりたい人だけやればいい」「できればやりたくない。などと考える人がいるかもしれない。実際、私も最近までそう思っていたのです。

私は、小学校六年まで日本舞踊を習っていました。ある日、踊りの先生から「今度、ボランティア活動として、老人ホームで踊ることになったので、しっかりと練習しましょう。」と言われたのです。私は、先生の話を聞いて「えっ、何でわざわざ老人ホームで踊らなくちゃいけないの。やりたくないなあ。」と、かなり消極的な気持ちになっていました。そして、ボランティアの当日はやりたくない気持ちで老人ホー

ムに行つたのです。

老人ホームに行くのと、たくさんのおじいさん、おばあさんが、今か今かと私たちの踊りを楽しみに待っていてくれました。私はいつもより緊張しながらも、頑張つて踊りました。踊り終わつておじいさんおばあさんたちを見ると、にこにここと喜んでいて、拍手をしてくれる人、中には涙を流している人もいたのです。また、その時、折り鶴を持って行ってみんなにプレゼントしたので、皆さんとても喜んでくれました。

私はこの時、正直びっくりしました。他の人たちはともかく、私の踊りなんてそんなに上手ではないし、むしろ笑われるかもしれないと心の中では心配していたのです。それなのに、こんなに喜んでくれていた。全く予想もしなかったことでした。「私の踊りで、自分ができることをして、こんなに喜んでくれる人がいるなんて！」「うれしさ？」「満足感？」「達成感？」「充実感？」それは、言葉で言い表せないような初めて味わう感覚でした。それなのに、こんなにうれしいことを最初はやりたくないと思っていたなんて、自分が情けなくなりました。これからは、始める前からやりたくないとかやらなくていいとか、決めつけないようにしようと考えました。

最後に、一人のおばあさんと握手を

しました。そのおばあさんの「今日はありがとう。とても素敵な踊りだったよ。また来てね。」という言葉が、いつまでも心に残っています。「ボランティア活動」とは、社会のために人々のために、自分から進んで、技能や労力を無報酬で役立てる行為です。相手のために、相手が喜んでくれることを、見返りを求めず行うこと。その意味が少しだけわかったような気がしました。

現在、災害におけるボランティア活動や福祉施設の訪問ボランティアなどたくさんの人たちが取り組んでいる様子をテレビなどでよく目にします。自分には、あまり関わりのないものと思っていたボランティアですが、この体験を通して、とても身近なものだということを実感しました。

私たちの社会は人と人が支え合って成り立っています。誰かのために自分のできることを進んで実行するというボランティア精神をもって生活すること、お互いが支え合う心を持つて生活することが大切なのではないでしょうか。

「自分のできること」・・・私にとつてそれは「日本舞踊」でしたが、これからは、また違う面でのボランティアにどんなチャレンジしていきたいと思っています。

皆さん、あなたの近くで困っている人、元気のない人、傷ついている人が

いたら、一つでも実行してみませんか。
あなたのできるボランティアを。

「笑う門には福来たる」

古殿中学校 二年一組

岡部 蒼衣

「笑う門には福来たる」という言葉の意味を皆さんは知っていますか。いつも笑顔でいる人や笑い声のたえない家には、自然に幸運が訪れるという意味のことわざです。

これは本当のことなのでしょうか。また、皆さんはこの言葉通り、笑うことを意識して生活していますか。確かに私たちは、テレビや本などを見て面白い時に笑ったり、友達や家族と話している時に笑ったりすることはあります。しかし、笑うことを意識して生活をしているという人はあまりいないのではないのでしょうか。

私が「笑顔」を意識し始めたのは、ある体験がきっかけでした。

私は部活中、友達や後輩と和気あいあいと笑顔で話すことがあまりありません。別に仲が悪い訳ではなく、私は、ただ普通に自分のペースでやっているつもりでした。そんな時に、私はよく友達に、「大丈夫？」と、声を掛けられます。もしかしたら、知らず知らずのうちには、知らず知らずのうちに、周りに人に気を遣わせてしまっていたのかもしれない。また、普段でもよく母

や先生に「蒼衣、笑顔、笑顔。」と、言われます。私が、そこまで言われるのには、理由があることに気がきました。

まず一つ目は、「笑顔」によって、自分の気持ちを盛り上げることができるところです。例えば、卓球部の試合などで、一点を取った時に笑顔で喜んだり、声を上げたりすると、気持ちがとても高まり、調子が上がっていくのを感じます。笑顔によって物事が良い方向へ進んでいくのです。

二つ目は、「笑顔」によって周りの雰囲気を変えることができるからです。私も、周りの雰囲気を変えることができるからです。私も、周りの友達や笑顔になると、つい一緒に笑ったり楽しくなったりします。また、自分が落ち込んでいた時には、「笑顔」で話しかけてもらうと、とても、うれしくなります。そうすると、自分の悩みなども軽くなり、気持ちも楽になってきます。

このように、意識して「笑うこと」で、私たちの生活は大きく変わっていくのです。しかし、その中にも注意しなければならぬ「笑い」があります。それは、人を馬鹿にするような笑いや、真剣な雰囲気や壊してしまうようなふざけた笑いなどです。友達と話している時に、にやにや薄笑いを浮かべていると、相手は馬鹿にされたように感じるでしょう。また、みんなで真剣に話しかけている時に、大笑いや高笑いなど

していたら、真剣な雰囲気や壊してしまいます。ここから言えることは、時と場合を良く考えること、相手の気持ちをよく考えることが大切だということです。私は今まで、意識して笑うことはあまりありませんでした。しかし、笑顔は自分のためにもなり、周りにも良い影響を与える大切なものだとということを知り、自分の生活を見直していかうと考えました。

自分の気持ちが落ち込んだ時にこそ、笑顔が心にかけていきたいです。誰でも嫌なことや辛いことがあった時には笑顔が消えます。そんな時ほど、笑顔で耐えることで、気持ちが前向きになるはずなんです。また、人と接する時には笑顔で心にかけていきたいです。そうすることで周りの雰囲気も良くなり、会話も弾み、人とのふれあいもうまくいくと思います。

「笑う門には福来たる」皆さん、もう一度この言葉の意味を考えてみてください。笑顔のあふれる場所、笑顔のあふれるひとにはたくさん良いことが起きる事でしょう。普段意識していない人も、笑顔を意識することで、きっと毎日が明るく楽しいものに変わっていくことでしょう。人と人の心をつなぐもの。それが笑顔です。

(次号に続く)

(原文のまま掲載しております)

芸文 歌友会例会作品

十一月例会

久々の行楽日和に紅葉狩

車窓は懐かし古里の景

遠藤 ヨシイ

百歳の媪は家族に見守られ

受診会計みずからなせり

我妻 慶子

寒菊に掛けたマフラーしつかりと

霜の衣をまといておりぬ

矢吹 和子

翠楽苑の紅葉の庭園めぐり来て

お点前の茶に心満たさる

鎌田 佳子

真っ紅なる山茶花のはなしつかりと

霜置く庭の点景一つ

佐川 静子

卓球教室閉講式

平成29年度卓球教室の閉講式が12月11日(月)に勤労者体育センターで行われました。

小学2年生から6年生までの男女30人が参加し、友達と楽しく練習し汗を流してきました。矢内公民館長より修了証が手渡され、教室生を代表して6年生の岡部日向さんが受け取りました。

その後、古殿中卓球OB会会長の渡邊家伸さんから、教室生に対して、ねぎらいの言葉がありました。

今後とも技術、体力向上に励んでください。なお、来年も開講予定となっておりますので、ぜひご参加下さい。



今月の図書

夫婦ふたりのシニアごはん

城川 朝 著

買わず、食べきる「小さな生活」。買い物は少しでいい。野菜は常備+買い足しでくりまわす。献立は2品でOK。冷凍室はため込まない。ラクして元気。食生活改革!おいしくてつくりやすい定番56品が掲載!



えんとつ町のプペル

西野 亮廣 著

ペン一本で描いたモノクロ絵本で世界を圧倒したキンコン西野が、業界の常識を覆す完全分業制によるオールカラー絵本! 「信じぬくんだ。たとえひとりになっても」



14歳、ぼくらの疾走

ヴォルフガング・ヘルンドルフ 著

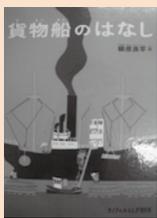
ドイツ児童文学賞、クレメンス、ブレンターノ賞、ハンス、ファラデ賞を受賞。現在16カ国で翻訳されている話題の一冊。きみは、どこからきたの。どこにむかって、ぼくらは歩いているの。今。人が旅をするのは、なんのためなの。50年後のぼくらは、どう生きているのだろうか、明日は?



貨物船のはなし

柳原 良平 著

写真では表現できない、船の表情まで描き出す、独特の絵をお楽しみください。かつて「こどものとも」で、「たぐぼーとのいちにち」や「しょうぼうていしゅつどうせよ」の絵を描いた作者が、弊社では半世紀ぶりに描いた船の絵本です。船の絵本としては遺作となりました。



「アスラン」です。
よろしくねー！



みんなのひろば



「アスラン」です。
よろしくねー！

ひろばは皆さんが参加するページです

お知らせしたいことや学校での出来事、自慢のペットや趣味など何でもお寄せください。みなさんにご紹介します。

3歳児健診で、むし歯のない子が表彰されました。

むし歯のない子 表彰

質問は

- ①お子さんはどんな遊びが好きですか？
- ②お子さんの好きな食べ物は何かですか？
- ③虫歯にならないように心がけたことは何かですか？
- ④お子さんに何かひとつことお願いします！！



水野 ^{しいま}海舞くん
(保護者：あすかさん)
松川字和久

- ①ウルトラマンVS かいじゅうごっこ、公園であそぶ
- ②お肉、サラダ
- ③毎日歯みがきをすること
- ④あつというまに3才になって…ちょっとさみしいなあ……☺
毎日ウルトラマンごっこしていっぱいあそぼうね!! しいまだいすきだよ —— ♡



荒井 ^{さくら}咲来ちゃん
(保護者：ひろみさん)
松川字寺作

- ①お人形を使っておままごとをする事が好きです
- ②ほうれん草とコーンのバター炒め、お寿司(まぐろ、いくら)、アサリ
- ③1日3回仕上げみがきをする事です
- ④いつも笑顔で元気いっぱいいな咲来でいてね。咲来が居てくれてみんなとっても幸せだよ。ありがとう。

おいしい一品

生活習慣病予防のための一品

今月の献立 オクラときこの磯あえ



一人分の栄養価…11kcal

たんぱく質 1.6g
カルシウム 6mg 食塩相当量 0.6g

*食物繊維たっぷりの一品です。野菜に含まれる食物繊維は肥満を防ぐ働きもあります。焼きのりの香りも楽しみながら召し上がってください。(健康管理センター 栄養士 窪木 彩香 さん)

作り方

- ①かつお節でだし汁をとっておく。オクラは水で洗い、塩少々を振って手でこすってうぶ毛をとる。
- ②オクラをサッと茹でて冷まし、3mm幅の小口切りにする。
- ③えのきは石づきを切り落とし2cm幅に切る。しめじは石づきを切り落とし小房に分ける。
- ④えのきとしめじを茹で、水気を切る。
- ⑤②と④をAで和えて、器に盛る直前に焼きのりをちぎって混ぜ合わせる。

材料(4人分)

- オクラ…………… 10本
- えのき…………… 100g
- しめじ…………… 40g
- A [しょうゆ…………… 小さじ2と1/2
- だし汁(かつお)…………… 小さじ4
- 焼きのり…………… 1/3枚

飲む機会が増えてくるこれからの時期 「お酒と上手に付き合きましょう！」

食事は『カロリー』、お酒は『ドリンク』

発行元 一般社団法人 福島県精神保健福祉協会
ふくしま心のケアセンター アルコールプロジェクト

お酒の純アルコール量を量る単位を『ドリンク』と言います。

ドリンクの求め方は、**お酒の量×アルコール度数×アルコール比重(0.8)** **純アルコール10gを含むアルコール飲料=1ドリンクです。**『ドリンク』を使って普段の飲酒量を確認しましょう。

あなたの『ドリンク』を確かめましょう

	ビール の量	×	アル コ ー ル 度 数	×	アル コ ー ル 比 重	=	純アル コ ー ル 量	ビール500mlは、純アル コ ー ル20g。「2ドリンク」
500ml 5%	500ml	×	0.05	×	0.8	=	20g	
	日本酒 の量	×	アル コ ー ル 度 数	×	アル コ ー ル 比 重	=	純アル コ ー ル 量	日本酒180ml(1合)は、 純アルコ ー ル21.6g。 「2.2ドリンク」
180ml 15%	180ml	×	0.15	×	0.8	=	21.6g	
	焼酎 の量	×	アル コ ー ル 度 数	×	アル コ ー ル 比 重	=	純アル コ ー ル 量	焼酎180ml(1合)は、純 アルコ ー ル36g。「3.6ド リンク」
500ml 25%	180ml	×	0.25	×	0.8	=	36g	

焼酎1合(180ml)と
ビール中ジョッキ1杯
(400ml)では、同じ
1杯でも含まれるアル
コ
ー
ル量は違う！

～お酒の純アルコール量を知ろう～ドリンク換算表

種類(アルコール度数)	量	ドリンク数
ビール・発泡酒(5%)	中瓶・1缶(500ml)	2.0
	中ジョッキ1杯(400ml)	1.6
	小瓶・1缶(350ml)	1.4
日本酒(15%)	1合(180ml)	2.2
焼酎(25%)	1合(180ml)	3.6
	お湯割り(5:5)(180ml)	1.8
チューハイ(7%)	1缶(350ml)	2.0
カクテル類(5%)	グラス1杯(180ml)	0.7
ワイン(12%)	ワイングラス1杯(120ml)	1.0
ウイスキー(40%)	シングル水割1杯(30ml)	1.0

CHECK 酒の適量を知ろう

アルコールを分解する能力は
人によってそれぞれ違います。
通常、日本人の適量は、**2ド
リンクとされています。**

この量はあくまでも目安で
あって、誰にでも当てはまるわ
けではありません。女性やお年
寄りの場合はこの半分の量10g
(1ドリンク)が適量です。少
量の飲酒で紅潮する人などは、
より少量が適量です。

また日本人の4%は全くお酒
が飲めず、40%はアルコールに
弱い体質と言われています。そ
うした人にお酒を無理強いる
のは危険ですからやめましょう。

飲んだお酒の中にどのくらいアルコールが
含まれているのかを知りましょう!!

【問い合わせ先】健康管理センター TEL 53-4038

暮らしに役立つ 情報

Information

お知らせ



救命講習会開催のお知らせ

【講習内容】

- 普通救命講習Ⅰ（3時間講習）
主に成人に対してのAEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法を学ぶ。
- 普通救命講習Ⅱ（4時間講習）
主に成人に対してのAEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法を学ぶ。
- ※学科・実技試験あり
- 普通救命講習Ⅲ（3時間講習）
小児、乳児、新生児に対してのAEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法を学ぶ。
- 上級救命講習会（8時間講習）
AEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法、

町の人口

住民基本台帳人口
11月30日現在

世帯数	1,780世帯（-7）
人口	5,436人（-16）
男	2,668人（-6）
女	2,768人（-10）

包帯法、担架搬送法など応急手当の全般を学ぶ。

【講習日時】

毎月第2日曜日及び
第4木曜日 9時から

【開催場所】

石川消防署管内の各町村において毎月開催場所を変更して実施しています。各月の開催場所はホームページをご覧ください。また、石川消防署古殿分署までお問い合わせください。

【対象者】

石川郡、須賀川市、岩瀬郡の各町村に在住または通勤・通学する小学生（高学年）以上の方。

【定員】

5人以上30人以内（個人での申込みも可能です）
※定員になり次第締切りです。また、5人未満の場合

役場の電話番号

0247-53-3111 (代表)

FAX 53-3154

FAX 53-4511

ホームページ

<http://www.town.furudono.fukushima.jp/>

Eメール

info@town.furudono.fukushima.jp

- 総務課 53-4611
- 地域整備課 53-4612
- 〃 53-4615
- 産業振興課 53-4613
- 〃 53-4620
- 農業委員会 53-4614
- 生活福祉課 53-4616
- 住民税務課 53-4617
- 〃 53-4618
- 出納室 53-4619
- 議会事務局 53-4621
- 教育委員会 53-3655
- 公民館 53-2305
- ふるどのこども園 57-5736
- 健康管理センター 53-4038

いきいき遊里工房 53-2313

おふくろの駅 53-4070

ふるどの荘 32-1180

社会福祉協議会 53-4394

古殿小学校 53-2049

古殿中学校 53-3135

は受講日を調整させていただきます。

【受講料】

無料

【申込方法】

講習日の5日前までに所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、お申込みください。申込用紙は石川郡、須賀川市、岩瀬郡にあります最寄りの消防署で入手するか、須賀川地方広域消防組合ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。また、電話による予約も受付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

問 石川消防署古殿分署

☎0247-5313412
FAX 0248-9412092
ホームページURL
<http://www.sukagawa119.jp>

須賀川税務署の平成29年分所得 税等の確定申告書作成会場は 2月16日(金)スタートです。

開設期間…2月16日(金)

～3月15日(木)

※土日を除く

場所…須賀川市産業会館

※確定申告書の提出に当たっては、マイナンバーの記載と本人確認書類（マイナンバーカードまたは通知カード+免許証等）の提示又は写しの添付が必要です。
※税務署内に申告書作成会場は開設しません。ご相談が必要な方は開設期間中に須賀川市産業会館にお越しください。

問 須賀川税務署

☎0248-17512194

確定申告は自宅でも作成できる、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」が便利です。

確定申告は自宅でも作成できる、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」が便利です。作成した申告書は、e-Taxでそのまま送信するか、書面印刷し郵送で提出すれば税務署会場の混雑とも無縁です。
※郵送の場合、申告書等の控えと切手を貼付した返信用封筒を同封すれば、収受印を押印した控えを返送いたします。





こんにちは赤ちゃん

氏名・住所・保護者



さかわ かずひ
佐川 和陽くん
松川字薄木
(富勇さん、真理子さん)



ときわ ちさき
常盤 千桜ちゃん
竹貫字竹貫
(慎太郎さん、博美さん)



いがらしここみ
五十嵐心咲ちゃん
山上字四在家
(健一さん、真奈さん)

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	住所
佐川 元さん	76	松川字小名沢
本郷 カネさん	91	田口字鍋作
矢内 盛一さん	102	鎌田字湖ノ上
齋藤 喜子さん	95	竹貫字竹貫
窪木 ハナさん	98	鎌田字沢
矢吹紀美江さん	77	松川字桑原
圓谷 幸一さん	88	松川字馬場
矢吹 嘉廣さん	99	竹貫字竹貫
坂本 弘道さん	90	田口字内畑
鈴木 三郎さん	88	松川字横川
薄井ミチ子さん	88	仙石字照内
野崎 サクさん	90	田口字松森
田口 清次さん	88	竹貫字新田
水野 敏博さん	92	大久田字越代

家計とお金の悩みに関する
無料相談会

【相談無料・秘密厳守】

財務省福島財務事務所では、専門相談員が、借金を抱えお悩みの方から家計や借金の状況等をお伺いし、必要に応じて弁護士などの専門家に引継ぎを行う相談会を開催します。まずは一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

日時：平成30年1月16日(火)
13時～16時

会場：須賀川市役所
(原則予約制・予約締切日1月15日)
2階ウルトラ会議室
(須賀川市八幡町135番地)

【予約受付先】

財務省 福島財務事務所理財課
024-1533-10064
(月～金(祝日除く)
8時30分～16時30分)

※当日の受付状況により相談が可能な場合もあります。お気軽にご来場ください。

福島県最低賃金が
改定されました

○福島県最低賃金

748円(時間額)
平成29年10月1日発効

○特定(産業別)最低賃金
下記の業種で働く方に適用されます。(金額は時間額)

電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業
(医療用計測器製造業(心電計製造業を除く)を除く)

798円

平成29年11月26日発効

計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業

832円

平成29年12月6日発効

輸送用機械器具製造業

834円

平成29年12月9日発効

自動車小売業

(二輪自動車小売業(原動機付自転車を含む)を除く)
831円

平成29年12月9日発効

非鉄金属製造業

847円

平成29年12月16日発効

次に掲げる者は除かれますが、福島県最低賃金が適用されません。

- 18歳未満又は65歳以上の者
- 雇入れ後3月未満の者であって、技能習得中のもの
- 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者

福島労働局 賃金室

024-1536-4604
又は各労働基準監督署へ



④①③のほか「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」にあつては、小型電動工具若しくは手工具を用いて行う穴あけ、かしめ、巻線、組線、取付け又は小物部品の包装若しくは箱入れの業務に主として従事する者



1月 暮らしのカレンダー

日 SUN	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat
31	1	2	3	4	5	6
	☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	仕事始め	運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	
7	8	9	10	11	12	13
☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333 消防団出初式 成人式	☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	元気はつらつ教室 (13:00～) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター 小・中学校第3学期始業式	すくすく教室 (10:00～) …健康管理センター	いきいきくらぶ (10:00～) 転倒予防教室 (13:30～) …健康管理センター 3カ月児健診・脱臼検診 (13:00～) …石川町保健センター	リハビリ教室 (13:00～) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	
14	15	16	17	18	19	20
☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	母と子の広場 (9:30～11:30) 元気はつらつ教室 (13:00～) …健康管理センター	乳児相談(午前) (5カ月児・10カ月児) こども歯科クリニック (午後) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	離乳食教室 (9:30～) …健康管理センター		いきいきくらぶ (10:00～) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	
21	22	23	24	25	26	27
☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	母と子の広場 (9:30～11:30) 1歳6ヵ月児・3歳児健診 (13:00～) …健康管理センター	こころの相談 (9:00～) 元気はつらつ教室 (13:00～) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	母親教室 (9:30～) …健康管理センター	いきいきくらぶ (10:00～) 転倒予防教室 (13:30～) …健康管理センター 納税日 町県民税(4期) 国民健康保険税(7期)	リハビリ教室 (13:00～) 運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター	
28	29	30	31			
☎ひらた中央病院 (平田村) ☎ 55-3333	母と子の広場 (9:30～11:30) 元気はつらつ教室 (13:00～) …健康管理センター	運動指導室開放日 (18:00～21:00) …健康管理センター				

※☎は休日当番医です。掲載を希望される行事がありましたらご連絡ください。

地区名	燃えるごみ
全地区	毎週火・金曜日

	地区名	資源ごみ	燃えないごみ
A地区	仙石、鎌田、田口、竹貫、 上松川、下松川	4日(木) 18日(木)	11日(木) 25日(木)
B地区	下山上、上山上、論田、 大久田	11日(木) 25日(木)	4日(木) 18日(木)



こども園生活発表会 (12月2日)